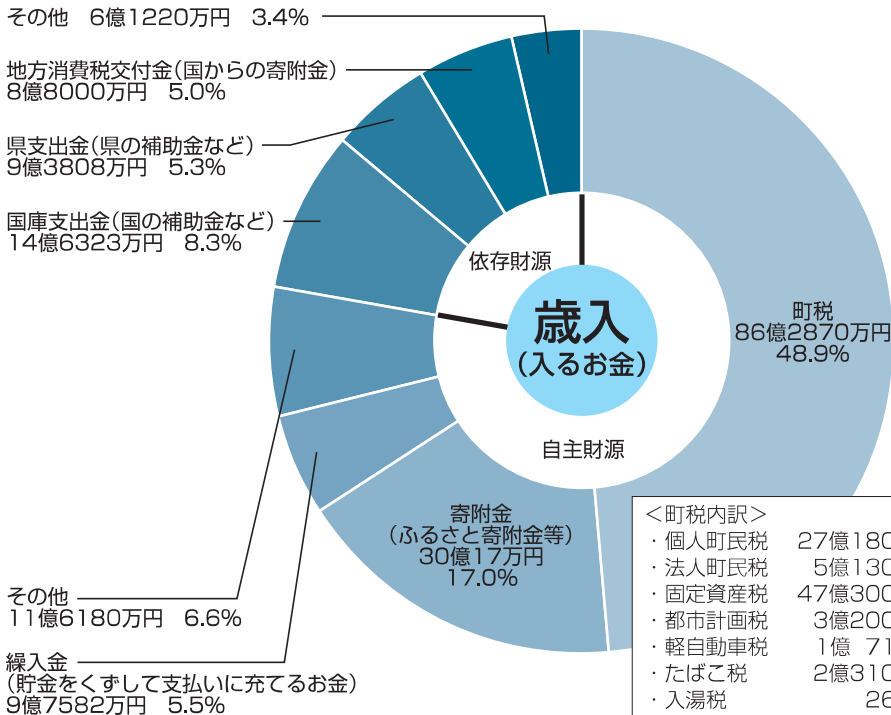


# の大型予算

## 176億6000万円を可決



**自主財源 78.0%**  
**137億6649万円**

個人町民税、法人町民税、固定資産税、たばこ税、寄附金などの独自に確保できる収入

**依存財源 22.0%**  
**38億9351万円**

国・県などの補助金、交付金や町債など

<町税内訳>

・個人町民税	27億1800万円
・法人町民税	5億1300万円
・固定資産税	47億3000万円
・都市計画税	3億2000万円
・軽自動車税	1億 710万円
・たばこ税	2億3100万円
・入湯税	260万円

**令和2年度**の一般会計予算は、176億6000万円、対前年度12億円の増額、3年連続で過去最大を更新し、大型予算となった。左の表にある6つの特別会計と2つの公営企業会計を合わせて、総額は265億円となる。

**歳入** 全体の48.9%を占める町税の総額は、86億2870万円、前年度に比べ1億8160万円の増額。この要因は、個人町民税と法人町民税からなる町民税総額の対前年度2400万円減。新築家屋、企業設備投資による固定資産税の対前年度1億9600万円増による。

**ふるさと寄附金**は、対前年度15億円大幅増の30億円を見込んでいる。な歳出は中央小学校の校舎増築に5億2789万円。

**国庫支出金**は障害福祉サービス費等負担金、認定こども園等施設型給付費負担金、児童手当負担金等で、対前年度9500万円の増額。

**借金**にあたる町債はショートステイ施設建設、中央小学校校舎増築などで、2億1900万円、対前年度2億3400万円の減額。

# 中央小学校の校舎増築に 5億2789万円



増築校舎 (2階建て)

増築が待たれる中央小学校

# 令和2年度 当初予算

# 伸びる幸田

## 一般会計

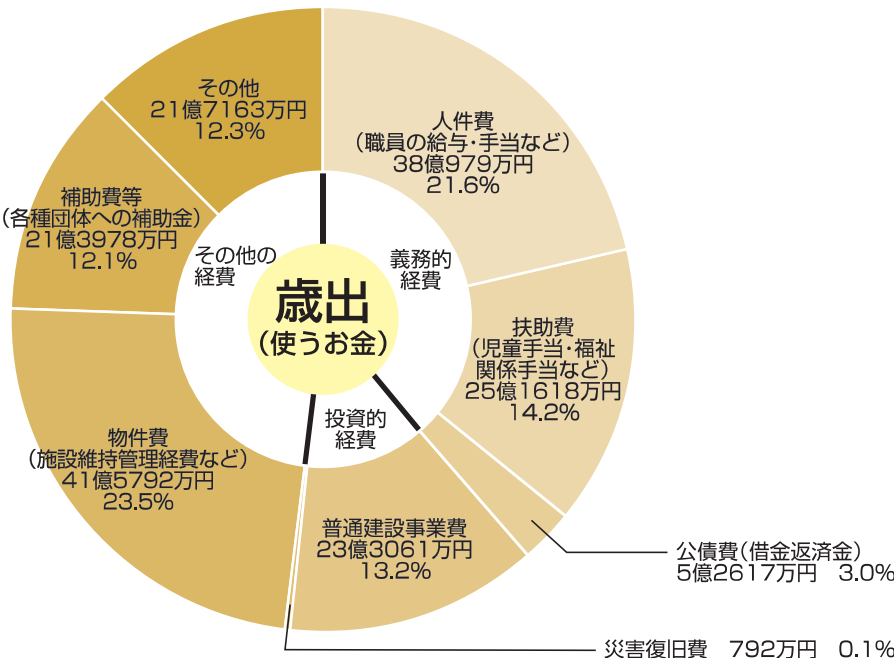
**義務的経費 38.8%**  
68億5214万円

人件費、扶助費など義務づけられている経費

**投資的経費 13.3%**  
23億3853万円

普通建設事業費、災害復旧費等固定的な資本の形成に向けられる経費

**その他経費 47.9%**  
84億6933万円



## 総額265億7372万円を可決

### 各会計別の当初予算と採決状況

(▲は減)

会計区分	予算額	前年度比 (%)	採決の状況	
一般会計	176億6000万円	7.3	反対1：賛成13で可決	
特別会計	土地取得	1億7623万円	722.6	全員賛成で可決
	国民健康保険	31億7037万円	▲3.9	反対1：賛成13で可決
	後期高齢者医療	4億7712万円	8.7	反対1：賛成13で可決
	介護保険	21億2428万円	6.0	反対1：賛成13で可決
	幸田駅前土地区画整理事業	2億7633万円	▲11.1	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	3億7996万円	3.9	反対1：賛成13で可決
水道事業会計	収益的支出	7億7505万円	▲2.2	反対1：賛成13で可決
	資本的支出	4億1846万円	26.3	
下水道事業会計	収益的支出	6億9420万円	▲1.4	反対1：賛成13で可決
	資本的支出	4億2172万円	▲8.4	
合計	265億7372万円	5.5		

**反対**

**子育て分野で公的責任の後退だ**

丸山千代子議員

子ども医療費助成の拡大、シヨートステイ建設など福祉施策の拡充など含まれているが問題点も指摘しなければならぬ。  
ふるさと寄附金は好調だが安定財源とはいえない。法人町民税は制限税率で自主財源確保を。  
マイナンバーは個人情報漏えいやプライバシーを侵害する。幼保無償化による給食費は無料化を。放課後児童クラブの民間委託拡大は、子育て分野で公的責任の後退につながる。

**賛成**

**多世代にわたる福祉政策の実行**

廣野房男議員

令和2年度一般会計予算総額176億6000万円の内容は、藤田医科大学岡崎医療センターへの送迎システムや、シニア・シルバースポーツセンター、シヨートステイ施設の建設など高齢者や障がい者への配慮。子ども達へは、18歳まで入院医療費の助成など、多世代にわたる福祉政策がバランスよく配分されている。その他、農業支援企業立地、文化・教育事業など、みんなでつくる元気な幸田に向け、諸政策を前に進める事を願う。

